

エコーガイド下頸動脈ステント留置術

血管内手術では通常造影剤を使って血管の状態を調べながら治療を行います。造影剤を使用すると腎機能障害が悪化するため、腎機能障害がある患者さんは造影剤が使いません。腎機能が低下し造影剤が使えない患者さんへ、頸動脈エコーとX線透視のみを使って細くなった頸動脈へステントを留置しています。



術中の写真：頸動脈エコーとX線透視のみでステントを留置しています